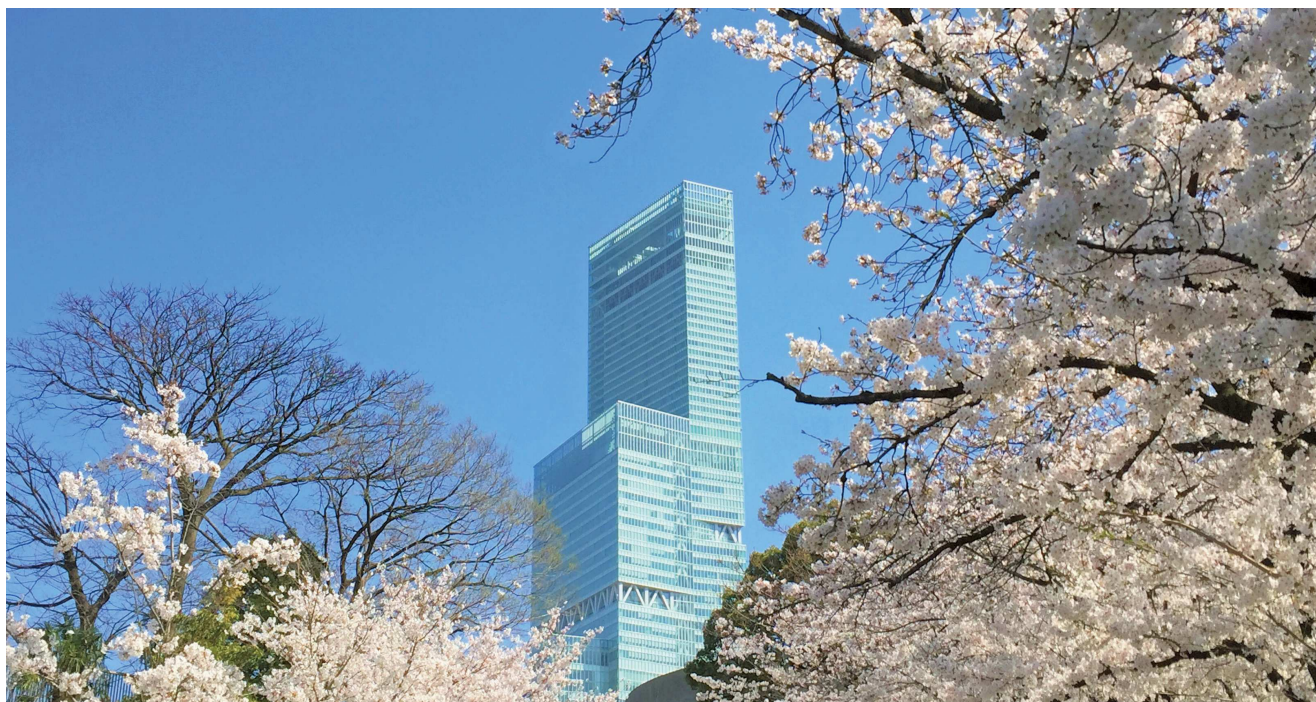


真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第 33 号

平成31年(2019年)
4月1日 発行



花衣まとうハルカス（大阪市阿倍野区）

願わくは 花の下にて 春死なむ

その如月の 望月のころ （望月＝満月）

この歌を詠んだ西行法師は弘川寺（大阪府河内町）で亡くなった。かつての僧侶や武将の辞世の句は、世にいう「終活」の先がけかとも受けとられる。

少子高齢化社会が到来した日本では「終活」が話題となり、エンディングノートが売られる。そののちのしまい方に関心が集まっている。その背景には、延命治療の是非や葬儀方法・遺骨の扱いなど、家族に心配や迷惑をかけたくないとの当人の思いが強い。

私もエンディングノートを買ってみたが、「終活」に対する当人の意志表明ばかりで、死後の行き先への問いは無かった。「死んだらおしまい」と「生」のみに執着することなく「死もまた我らなり」と自らの死と向き合いつつ、死んで往けるという死生観も必要ではないのか。西方浄土への往生を願い「西行」と名乗った法師は今何を思うだろう。

（長田 譲）

う へ が ん 到 彼 岸



いのちの道筋

浄方寺 かどかわ たかし 門川崇志

人間の知恵

昨今、AI（人工知能）が、これから私たちの生活を大きく支えてくれる未来の技術として期待されています。

AIは、これまで人類が積み重ねてきた知識をコンピューターに集積し、人間の知能に代わって、様々なことをAI自身が判断し、決定してくれます。ロボット掃除機や車の自動運転など、AIはすでに私たちの身近なものになりつつあります。

ところが、研究や実用が進むにつれ、AIの人間社会への進出を手放しで喜んでもらえないことが分かってきました。実はAIによる意志決定には、性差別や人種差別など、人間の歴史が知らず知らずに積み重ねてきた偏見の意識さえも反映されてしまっているという事態が起こっているのです。

こうして人類の英知ともいふべき未

来の知能は、皮肉にも人間が蓄積してきた知恵の問題性、限界性を浮き彫りにすることとなりました。

仏の智慧

この人間が潜在的に持つ自己中心的なものの見方を、仏教では「我」と説き、向き合うべき課題としてきました。

果たして自分の「いのちの道筋」が私には見えているのか。仏の智慧に耳を傾ける時、生きること、そして死ぬことの意味までもが知らされます。

お念仏に生き、命終わって浄土に往生生まれるという「いのちの道筋」をお示しくださる仏の智慧を、親鸞聖人は「智慧の念仏」と慶ばれました。

（平成30年5月21日、宝林寺で開催の

大悲の会後援・布教大会より）



仏教は智慧の宗教といわれ、お聴聞は仏の智慧を聞くことでもあります。辞書に「智慧（知恵）」とは、「物事の道筋を知り、前後をよく考え、計画し、正しく処理していく能力」とあります。私たちは、我が「いのちの道筋」においても、自身が積み重ねてきた知識や経験をたよりとして、その場その場での確に理解し判断して、人生を歩むことが出来ていると考えています。

如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

和讃のころ

大谷大学教授 三木彰円^{みき あきまる}師



平成30年9月28日、大阪別院にて三木彰円師をお迎えし「和讃のころ」と題して法友会研修会を開催しました。

讃嘆のうた

親鸞聖人が和讃を作られたおこころは何か、真宗門徒が和讃を声に出しうたっていく中でどのように和讃と向き合っていくべきかということをお話いただきました。

まず和讃は「讃嘆のうた」

なのだと、そして「讃嘆」とは遇いがたくして出遇い得た

本願念仏の教えを通して初めて生まれ出てくるものであると押さえられました。

教えに出遇い、心に受け止めた感動や喜びをどれほど素晴らしいと思っても、心に留めているだけであればそれは讃嘆にはならない。教えの言葉となって表れ、声に発して讃め嘆^ほめることが讃嘆なのだとおっしゃいました。

教えと出遇う

また和讃をお作りになったのは、出遇い得た教えを身に

持つ^{たも}ためです。つまり声に出した和讃というように、その時、その時という形で教えを受け止めていくことができる。

これは出遇い得た教えと常に出遇い続けていく、一つになつて生きていくことなのだと語られました。

教えの言葉で作られた和讃を我々が声に出してお勤めし、聞こえてくる言葉はそのままです。つまり教えが私たちに

届いているのです。

また教えと私たちが出遇うことは人と成っていくのだと。具体的には本願に帰し念仏し生きる人と成るのです。

そして聖人のうたわれた感動の言葉は響きを持ち、きつと必ず私たちにも響いてくるのです。そしてその響きは教えを聞く大事な手がかりとしてはたらいっていくのです。

聴聞して

毎日、和讃を声に出してお勤めしていることがすでに阿弥陀の本願に出遇っているのだという言葉に驚いたと同時にいま一度、聖人の感動の言葉から響いてくるよびかけを聞かせていただきたいと感じました。

(玉出宗順 記)

大阪市中央公会堂



中央公会堂の全景



大集会室



緞帳

【アクセス】

・大阪メトロ御堂筋線「淀屋橋駅」、
堺筋線「北浜駅」、京阪本線「淀屋橋
駅」、中之島線「なにわ橋」より徒歩数
分

大阪・中之島公園内にある大阪市中央公会堂は1918（大正7）年に建てられた鉄骨煉瓦造、地上3階・地下1階のレトロな建物です。

日本有数のネオルネッサンス様式で、工夫されたデザインが高く評価され2002（平成14）年に国の重要文化財に指定されました。

公会堂誕生秘話

義侠の相場師といわれた株式仲買人、岩本栄之助は南区（現中央区）にあった両替商「岩本商店」の次男として生まれました。彼の口癖が「学問をせなあかん」だそうで、証券取引所で働く子どもたちのために塾を作りました。

そんな彼は株で得た利益を公共事業に活か

すことに強い関心を持ち、「大阪にどこにも負けない公会堂を造る」と百万円（現在の数十億円）を寄付され、公会堂誕生に至りました。

100年の思い

公会堂ではガガーリンやヘレン・ケラーなどの著名人が講演しました。現在では100周年を迎え、プロジェクトンマッピングなどのイベントがたくさん行われています。地下1階では大集会室に設置されていた緞帳や椅子などが無料で見学できます。大集会室などの特別な部屋は「館内見学ツアー」（千円、要事前申込み）にて見学が可能です。栄之助の思いの詰まった公会堂をじっくり見学ください。

（寿栄松正顕）

大悲トピックス

■さつき会研修会

2月21日、今年度最後の研修会として、改修工事も終わった佛光寺本廟にお参りさせていただきました。

午前10時半から本堂でお勤めし、滋賀北教区円覚寺ご住職である日下秀淳師に「わがはからいなるべからず」の講題で法話をいただきました。

午後は本廟の隣にあるウエスティン都ホテルで美味しいお食事と話し尽きることなく楽しいひと時を過ごし、昼食後はそれぞれ自由に南禅寺など周辺を散策して帰りました。

(さつき会会長 葦名眞紀)



本廟での法話の様子

■法友会研修会

2月10日、大阪別院にて法友会研修会が開催され、第6組・

光念寺の候補衆徒であり、堺市役所市民税課に勤務されている松野正暁師より

「これだけは知っておこう。宗教法人の

税務について。」と

いう講題のもとお話しいただきました。

住職として、税務に関してこれだけは知

っておかないといけないことを簡潔かつ丁寧に

教えていただきました。



研修会の様子

(法友会会長 隅谷俊紀)

■懇志御礼

兵庫県芦屋市

如来寺様

京都市下京区

大善院様

滋賀県近江八幡市

正福寺様

■新住職の紹介

和田正智 (第六組・慈光寺)

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055

(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367(代)

FAX (075) 371-5088

本山佛光寺 御用達

石の総合メーカー

株式会社 **石留石材**

ホームページ

<http://www.ishitome.co.jp>

本社：京都市中京区堀川御池角

TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826

- 大正三年創業の信頼と実績 -

◇ **石留石材株式会社**

各種石塔・石仏・記念碑

寺社建築石材まで

○ ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂 2 丁目 9 番 29 号

浜屋は関西最大級のお仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル

お問い合わせお申し込みは **0120-1616-94**

●受付時間/午前10時～午後6時30分

燦ホールディングス グループ

まごころ葬儀を創造する。



公益社

公益社 ご葬儀相談センター (24時間・365日受付・通話料無料・携帯電話OK。)

0120-567-701

※2012年5月現在 ㊞0131

燦ホールディングス グループ

なごみ庵



き・た・は・ま

KITAHAMA

法要料理

希望の場所までお届けします。

■四條畷店
■瓜破店
■伊丹店

☎0743-78-7521

☎06-6769-0140

☎072-773-7531

※2012年5月現在 ㊞0132

だいひ 絵日記

- 1月 2日(水) 大阪別院修正会
 1月10日(木) 大阪教区新年互礼会
 1月16日(水) 大悲の会編集会議(総会・第33号読み合わせ)
 2月10日(日) 法友会研修会
 (これだけは知っておこう。宗教法人の税務について。・講師：松野正暁 師)
 2月15日(金) 大悲の会編集会議(第33号読み合わせ)①
 2月21日(木) さつき会研修会(佛光寺本廟参拝)
 3月16日(土) 大悲の会後援・布教大会(正念寺にて)
 3月18日(月) 大阪別院彼岸会(布教：門川崇志 師)
 3月21日(木) 大阪別院彼岸会(布教：葦名 彰 師)
 3月24日(日) 大阪別院彼岸会(布教：長田 譲 師)
 3月25日(月) 大悲の会編集会議(第33号発送作業・第34号内容検討)

(法友会=住職会、さつき会=坊守会)



表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

「大悲の会」御用達

鮎 旬魚菜 さぐち

地下鉄御堂筋線あびこ駅前

tel. 06-6696-6880

〒558-0011 大阪市住吉区荻田 7-5-20

さつきマンション 1F

仏跡参拝なら専門旅行会社にお任せ下さい!!

～歩もう仏陀の道のりを～



株式会社 モントラベル

〒550-0013

大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

お気軽にお問い合わせください

TEL. 06-6531-1344

協 賛

法 友 会
さ つ き 会
佛 青 懇 和 会

■誌面広告募集

企業・団体・寺院の広告を誌面に掲載させていただきます。

1区画(55mm×40mm)、掲載1回につき5,000円です。

ご寺院、お役に立てる商品が、きっと見つかる情報誌!

寺がある、法が活きる、寺の友社。



株式会社 寺の友社

〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2

TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29

http://www.teratomo.jp

ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。



どなた様でもお参りいただけます 法要・法話会のご案内



本山佛光寺茶所布教

毎日午前 7 時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

5 月 6 日（月）～ 10 日（金）

法話：隅谷俊紀 師（高照寺）

5 月 11 日（土）～ 20 日（月）

法話：葦名 彰 師（妙圓寺）

6 月 6 日（木）～ 10 日（月）

法話：脇阪義仁 師（霊松寺）

大阪教区寺院で開催される法話会

◎正念寺（大阪市東住吉区・06-6714-3109）

6 月 4 日（火）午後 2 時

「仏教セミナー」法話：櫛原秀光 師

◎高照寺（堺市北区・072-252-2122）

5 月 12 日（日）午後 3 時

「聞法の集い」法話：玉出宗順 師

※詳細は各寺院にお問い合わせください



編集秘話

どれほど意を尽くしても、伝えきれないことがある。伝えきれないもどかしさから出発する原稿。幾度かの編集会議を経て、何度も手直しされて最終稿として仕上がる。それは読んでくださる方に何とか伝えたいという私のまなこ、仏法に触れ私の、自らを問い返す私自身へのまなざしを開いてくれる過程です。（佐々木）

編集後記

大阪別院での編集会議を終えると、夜の 8 時過ぎ。そのあとは、まっすぐ帰らず、皆でなじみの居酒屋へ。美味しい料理に、美味しいお酒をいただきながら、和気あいあいとした雰囲気でおしゃべりを。ココは、感想や意見が飛び交う編集会議での緊張感をほぐす大切な場。単なる飲み会ではありませんよ……。 （隅谷）

大阪教区・別院だより『大悲』 第 33 号（春号）
平成 31 年（2019 年）4 月 1 日発行（発行部数 2200 部）

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区荻田 6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会

長田 譲（会長）

隅谷俊紀（副会長）

寿栄松正顕（会計）

玉出宗順（会計）

門川崇志（監事）

佐々木太一

葦名 彰